



大坪冬彦 日野市長

日野市では、11月6日に「環境フェア」で気候非常事態宣言を行いました。巨大台風の発生原因や背景となる地球温暖化、気候危機問題に対する市の取り組みについて、お話をさせていただきます。

日野市「気候非常事態宣言」 パートナーシップで取り組む地球温暖化問題

1. 気候ストライプ

今年は特に気候変動の問題が注目されていて、その原因となるのが地球温暖化です。地球温暖化は1850年から始まっていて、特に1980年以降、急速に気温が上昇しています。この170年で平均気温が、1.2℃上昇しています。これが我々の日常生活の生活を脅かすほどの大変な変化です。

2. 気候変動・地球温暖化とその原因について

- ① 世界中の科学者が協力して気候変動研究する機関(IPCC)が、昨年9月に出した報告書で、気候変動の要因は人間活動の影響であることを公表しました。
- ② 北半球では、多くの気候変動の影響が出ています。特に北半球の高緯度の地域は顕著で、今年7月にはヨーロッパ、北米、アジア各地に各地で長期にわたり干ばつ等、大きな被害が起きております。また、干ばつだけではなく洪水集中豪雨、海面の上昇、山火事が発生して、世界中は異常気象の影響を受けています。
- ③ 11月6日に開催されたコップ21という気候会議で、そこでグテーレス国連事務総長は、この状態を「我々は気候地獄へ向かう高速道路でアクセルを踏み続けている」と表現されています。

3. 世界各地に広がる干ばつ

- ① 特に北半球で2020年8月23日、欧州委員会で過去500年以上で最悪の干ばつ被害が発生しています。2015年以降の奥州の干ばつは、過去2110年間で最悪と言われています。
- ② 長江以外に2020年に枯渇状況が示された河川は、アメリカのコロラド川、フランスのポー川、アメリカのミシシッピー川、ドイツ、スイスにまたがるライン川、ドイツのドナウ川、イギリスのテムズ川、フランスのロワール川、ポルトガル、スペインにまたがるグワディナ川、イギリスのネイルボン川、イタリアのバッキリオネ川、メキシコのリオグランデ川等、多数あります。

4. 食糧生産・飢餓への影響

- ① アメリカの猛暑によって、昨年度は8億2800万人もの人々が飢餓の影響を受けていました。急性食料不安(生命に関わる深刻な飢餓状態)に直面する人々が2019年は1億3500万人だったのが、2022年には3億4500万人、たった3年間で2億人も増えています。
- ② 気候変動だけではなく、コロナ禍、ロシアによる戦争。これによって食糧危機になっているウクライナもロシアも食料供給国でしたので、拍車がかかりました。
- ③ ベースにあるのは、干ばつ地球気候の問題です。

5. 山火事の発生

- ① 各地で山火事が発生して多くの野生生物の命が失われています。オーストラリアでは、2019年から2020年にかけて史上最悪といわれる森林火災が発生して10万平方キロ以上の森林が焼失しました。そして5億匹以上の野生生物が焼け死に30億匹以上が火災の影響を受けたという報告があります。

- ② 2022 年起こった山火事は、フランス、スペイン、ポルトガル、ギリシャなど、ヨーロッパ各地で発生しています。世界的に広がった干ばつによって世界各地で数え切れないほどの山火事が発生し、ここ数年は増加しています。この山火事は大量の CO2 を発生させ温暖化の要因となっています。
- ③ 西オーストラリアの各地でも干ばつと熱波など気候変動による原因で森林火災が多発し、ニューサウスウェールズ州の火災では生息するコアラの 1/3 が死亡したという報告がされています。今年 2 月、オーストラリア政府はコアラを絶滅危惧種に指定され、気候温暖化によってもたらされた深刻な事態があります。

6. 豪雨、洪水、台風の被害

- ① パキスタンでは 6 月以降、モンスーン影響によって過去数 10 年で最悪といわれる大洪水が発生し、国土の 1/3 が水没しました。1200 人以上は亡くなって、3300 万人以上が被災、640 万人が避難を余儀なくされています。

7. 崩壊する氷山、消えゆく氷河、溶解する永久凍土

- ① 温暖化によって北極の氷山南極の氷床が急速に減少しています。永久凍土、氷が解けていき、氷山が崩壊して氷河は姿を消して永久凍土が溶解しつつあります。シベリアの北極圏では、現在、観測史上始めて以来、38° という最高気温を記録しました。
- ② 永久凍土が溶けると、その下に封じ込められていた未知の菌、ウイルスが表に出てきます。新たなパンデミックのリスクが生じます。もう既に危険な炭疽菌、そして森ウイルス等が大気中に放出されて死亡者も報告されています。
- ③ 炭疽菌は、生物兵器などに使われており、森ウイルスとも呼ばれ生物の細胞に入り込むと、12 時間以内で 1000 倍に増殖し、入り込んだ細胞を破壊してしまう恐ろしい細菌です。また菌やウイルスだけではなく、CO2 よりも強力な温室効果ガスであるメタンも氷の下から大気へ放出されます。その結果、温暖化がさらに加速します。メタンは CO2 の 25 倍の温室効果を持つと言われています。
- ④ 永久凍土氷河・氷山の溶け出すことが、すでに始まっています。

8. 生物の絶滅の加速

- ① 1975 年以前は、年間に絶滅する生物は一種類でした。現在は第 6 回目の絶滅期と言われ、年間 4 万種が絶滅しているといわれています。本来、種の数の回復には、数 100 万年かかると言われています。
 - ・絶滅危惧種は、この 20 年間で 4 倍に
 - ・年間 4 万種の生物が絶滅している
 - ・気温が 1 度上昇すれば、生物の種の 10% が失われる
 - ・気候変動の最悪シナリオは、気温最大 4.8° C 上昇だと、種の半数が絶滅する可能性がある
 - ・今の状況は最悪のシナリオに近い
 - ・地球史上もこのような温暖化・種の絶滅の加速は例を見ない事態

9. 地球環境問題

- ① 1990 年代に地球環境に関する国際的な議論が本格的に進み始めました。1992 年に開催された「環境と開発に関する国際連合会議」(通称地球サミット・リオサミット)ご記憶にある方もいらっしゃるかもしれません。この場で気候変動の枠組条約というのができて、これに署名がされました。まあ、多分、全世界のほとんどの国が証明しています。これが現在も継続開催されていて、これがコップという会議の起点となりました。この 1992 年の会議で、当時 12 歳のセヴァン・カリス・スズキさん日系のカナダ人の少女がスピーチを行いました。このスピーチは非常に感動的な人々の胸を打つスピーチであったそうで、伝説のスピーチと言われました。それから 30 年を経過した今、このときよりもさらに状況は深刻化してしまっています。

10. 国連気候変動枠組条約締結国会議(COP)

- ① 1995年から医療サミットの後に、コップ国連気候変動枠組条約締結国会議が始まりました。今年が27回目となって、その会議が11月6日からエジプトのシャルムエルシェイクで開催されています。この中で特に重要とされる三つの会議があり、国際的な約束ごとが決められています。
- ② 京都議定書(1997、COP3)：先進国に数値目標を義務付け、日本は2008年から2012年までの間にCO₂の削減目標として-6%とする目標を掲げました。京都議定書の大きな欠陥は途上国は、この義務を負わないという問題。このときCO₂の排出大国であった中国、インド等が途上国とされた為、目標削減目標はなかった。2001年にアメリカは、このCOPの会議で離脱しました。
- ③ コペンハーゲン合意(2009、COP15)：気温上昇を2℃以内に抑えるべきと認識。目標としてはCOP16で合意。
- ④ パリ協定(2015、COP21)：長期目標としての2°設定、可能な限り1.5°に抑える努力を途上国も含むすべての国が目標を設定し、提出・更新する。2020年のCO₂の排出量は、全世界で1位中国、全世界の30.6%で、2位がアメリカ合衆国13.5%、3位EUの7.5%、4位がインド、7.0%、5位ロシアが4.5%、6位日本は3.0%。

11. 1.5° C目標の意義

- ① 1.5℃と2℃ たったの0.5℃で何が違うのか？
 - ・生息域の半分を失う陸域生体系(昆虫、植物、脊椎動物)の割合が2倍以上になる
 - ・2100年までの世界平均海面が10cm上昇する
 - ・夏に北極海の海水が消失する
 - ・水ストレス(生活不便を感じる程度の水不足)を感じる人の割合が50%増える
- ② サンゴは1.5℃の気温上昇で70%~90%が死滅 2℃の上昇では99%以上が死滅する。

12. COP27の論点

- 「協力するか滅亡するかを選択を迫られている」
- ・混迷と対立から始まったCOP27
 - ・ロシア・ウクライナ問題に起因したエネルギー事情
 - ・気候変動被災国(途上国)への先進国の支援

13. 人々の視線は、未来に向かうのか……

- ① グローバルな社会、世界地球全体に繋がっています。
ロシアのウクライナ侵攻によって、1400万人の難民が発生して広大な穀倉地帯を持つウクライナが戦場になるとヨーロッパ、アフリカ地域の食糧事情は急速に悪化しています。経済制裁によって世界的なインフレが進んで世界同時不況という経済的問題があります。
- ② 人の心は、環境よりも経済？
COP26 昨年まではヨーロッパ、特に、ドイツ、フランスなどが中心となってCO₂を削減しましょう。再生可能エネルギーを使いましょう。石炭の発電から離脱という音頭とりしていましたが。ところが、ロシアからのパイプラインのガスがヨーロッパにとって非常に、大きなエネルギーになっていて、ある意味本当に生殺与奪の権を握っている状況でありました。それが、天然ガスの供給を制限しました。それで大騒ぎになり環境再生可能エネルギーの先進国と言われたドイツ石炭火力の依存度が高まってしまいました。。

14. 大規模な若者の動き

- ① 2018年にスウェーデンの少女グレタトゥーンベリさんの「未来のための金曜日でデモ」が、世界1500カ所以上に広がって世界中の若者たちが共感し、動きが始まりました。

15. SDGs未来都市日野の環境分野の取り組み

- ① 令和元年、SDGsの未来都市に都内としては初めて日野市が選定されました。プラスチックの資源化を進める第二次ゴミ改革をテーマとして未来都市に選定されたということでした。SDGsの未来都市計画で評価され賞を頂きましたが、その中身の中心がゴミの問題でした。
- ② 環境分野の取り組みとして、プラスチックごみの資源化、ごみ削減に注力。

16. 日野市のごみ問題の経緯とSDGs

- ① 1995年環境条例の制定、多摩地域でワースト1のごみの量
- ② 2000年ごみ改革に着手、ごみの有料化、ダストボックス撤去
- ③ 2001年ごみの量が半減、最もごみが少ない自治体に
- ④ 2008年新たな課題の発生 “リサイクル率”の低迷と処理施設の老朽化
- ⑤ 2013年ごみ処理の3市広域化と合わせプラスチック資源化施設を計画
- ⑥ 2020年 第二次ごみ改革:プラごみの資源化施設の整備、環境の負荷の低減化を目指し、停滞している資源ごみの再利用、プラスチックごみの適正処理と削減、処理エネルギーの効率的利用
- ⑦ 今年の4月から始まったプラスチック資源循環促進法という法律が出来、ましたが法律ができる前から先取りして進めているということで、全国から日野のプラスチックの資源化施設の視察を申し込まれることが多い状況です

17. 台風19号(ハギビス)の影響

- ① 令和元年10月の台風19号「カテゴリー5」最大級の台風で、市内各地での浸水、河川の氾濫、避難者は最大で8600人になり、日野橋の橋脚が陥没し、交通にも影響を与えた。
- ② SDGs未来都市になった、令和元年に台風15号、19号、が上陸し各地に大きな災害の爪痕を残した。

18. 今世紀末の天気予報

- ① 2100年の未来には、東京で猛暑日が2カ月間続き、熱中症の死者が15,000人を超えるという予想です。
- ② 最大瞬間風速が90m級の台風が多数上陸する可能性があるという予想です。そして当然、農業にも、大きな被害が生じてきます。
- ③ 100年後にどれだけ人間が生息できるかを示す地球儀があります。それによると日本は生活が難しい地域に入っています。
- ④ 2030年 -4℃気候気温を下げるできない。逆にCO2の排出量を10%増加させてしまうということは、このままいくと2℃未満に抑えることができずに、3~4℃上がってしまうような100年後の2100年の天気予報が実際に当たってしまうということがあると思います

19. 今私たちが未来に何が残せるのか…?

- ① 2015年、パリ協定が結ばれた年。このときは同時に国連でSDGsという持続可能な開発目標の採択が行われました。両方が同じとしても非常にエポックメイキングがあります。その中でその採択文章として、我々の世界を変革する持続可能な開発のための2030年アジェンダというのがあります。その50番目の項目に、我々は地球を救う機会を持つ最後の世代になるかもしれないと言う危機感が記載されています。
- ② 今の美しい自然安全な社会を、我々の子供達のあるべき未来の社会に繋げられるかどうかというのは、私たちの行動にかかっています。
- ③ このアジェンダの50番目の項目の最後には、このように書かれています。我々がこの目的に成功するのであれば、2030年の世界はよりよい場所になる。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻等もあって、脱炭素の話もヨーロッパにおいて逆回転してしまっていると言うこともあります。非常事態深刻なのかなと思います。

20. 日野市の地球温暖化対策、脱炭素関連計画

- ① 日野市は、SDGs未来都市として持続できる社会地域を次の世代に残して行くと言うことを行っていきたく思っております。
- ② 基礎自治体としての責務として当然、その中で中規模の課題に真剣に取り組んでいく必要があります。そのために第3次環境基本計画、そして第四次地球温暖化対策実行計画を作り、その中で、政府と同様に2030年にCO₂-46%、2050年に-100%、つまり排出0を目指すことを掲げております。
- ③ 第5次日野市環境地球温暖化計画で2030年2050年の目標値として地球温暖化対策としては温暖化効果ガスを減らす緩和策、そして温暖化による悪影響を備え、適応策を提示しています。
- ④ 目標を実現に向けた決意として去る11月6日、日野市環境フェアをイオンホールで開催し「気候非常事態宣言」を日野市で表明いたしました。
- ⑤ 第三次日野市環境基本計画と第四次地球温暖化対策実行計画、これは内容がほぼ同じですが、環境基本計画というのは全体ですね。温暖化対策だけではなく、すべての項目について、ということ。その一部が気候変動の分野と気候変動分野について特化したのが、地球温暖化対策計画になります。それをこれから実行して行くということになっています。

21. 日野市気候非常事態宣言

- ① 気候非常事態宣言は、全国で129自治体。都内では、日野市も含めて8自治体のみが宣言しています。
- ② 日野市は、二つの河川が市内を流れていて、116キロも水路があり、気候変動の影響を受けて危機だと認識し、より具体的な課題として、市民の皆様にも感じていただき、危機のレベルが非常事態と言えるまでに経ってしまっているということを示すために、気候非常事態宣言をすることにしました。
- ③ この気候非常事態宣言なのか、0カーボンシティ宣言なのかっていうのは国際的にみると、大きな違いがあって気候非常事態といわなければ、国際的には取り上げられないということになっています。
- ④ 0カーボンシティ宣言は702自治体ありますけど、気候非常事態ということ宣言すること自体はかなりの覚悟がいりますし、国際的には初めてそれで認められるということになります。

22. 気候変動に対応する日野市“諸力融合”の枠組み

- ① 地球温暖化異常気象は、目標を共有して関係するすべての方々共に諸力融合で取り組むべき課題です。
- ② “諸力融合” パートナリシップで目標達成に向け共創する体制づくり
・市民、教育機関、企業地域団体、市議会、日野市、様々な事業者団体がそれぞれの出来ること、得意とする分野の地検力を持ち寄り、協力して取り組んでいくことが必要です。
- ③ 気候変動の影響は社会全体の問題であり、すべての団体、あらゆる属性の人々の共通の課題です。
- ④ 脱炭素の取り組みの具体化に向けて、それぞれが「自分事」として取り組み、それぞれの知見や資源を持ち寄り、協調して気候問題に取り組む体制づくりを目指します。

23. “気候変動・脱炭素”に向けた地域体制の構築

- ① 日野市で令和5年度から、「気候市民会議」を開催予定
- ② 日野市の気候市民会議とは…
・2つの一級河川と祖の合流点、116 kmに及ぶ水路を有する日野市にとって気候問題の影響は、市民生活に直結する課題です。様々な地域活動や企業活動にも大きな影響があり、すべての世代、様々な属性の人々に関わるべき課題です

- ③ 気候問題こそ、行政、市民、企業、大学など異なるセクターが課題を共有し、知見や資源を持ち寄って取り組むこと、それぞれの活動領域における行動変容が求められています。
- ④ 気候市民会議も様々な属性の方々が共創する“諸力融合”で取り組んでいきます。
様々な属性の方々からなる日野市ならではの会議組織に行きたいと思っております。
- ⑤ この気候市民会議だけではなく、それ以外のご意見も聞きながら、気候危機に対しどう対応するのか？ ということを考えていかなければなりません。
- ⑥ 日野市は、第三次日野市環境基本計画、そして0カーボンということで、第四次地球温暖化対策実行計画を示させていただいています。
- ⑦ 日野市においても皆様のご協力参加いただきながら、危機的な状況を打開するために日野市としても。全力で取り組んでいきます。
- ⑧ 我々行政としても、その先頭に立って皆様と共に取り組んでいきたいと思っております、よろしくお願い致します。

